

【家庭数配付】



学校だより

令和6年7月23日

やまほ

市川三郷町立
市川東小学校
272-4895
発行者(文責)
校長 埴原志津香



1学期が終わり いよいよ夏休み!



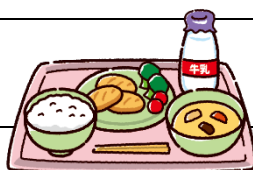
早いもので、74日間の1学期も無事終わり、明日からは、子どもたちにとって楽しみにしている夏休みが始まります。

夏休みを前にした各教室では、まとめのプリント・タブレットを使っでの探究学習・英語の暗唱など、どの子も真剣に、そして笑顔で学んでいる様子が見られました。1学期のお子様の成長については「あゆみ」でお伝えしますが、成果や課題に対して、これからどのように声かけしていくかが、学校でも家庭でも大切なポイントになっていくと考えます。お子様の可能性や長所をよりよく伸ばしていける励ましの「あゆみ」となりますよう、各家庭におかれましても、お子様への言葉がけを大切にいただければと思います。

さて、明日から35日間の夏休みが始まります。夏休みは、家庭や地域の中で自立心や社会性を身につけるよい機会です。各種行事へ参加したり、好きなことや探究的な課題にじっくり取り組んだり、ゆとりをもって過ごしたりと、子どもたちにとって有意義な夏休みになりますよう、ご協力をお願いいたします。8月28日(水)の始業式には、一回り成長して、元気に登校してくることを楽しみにしています。

8月28日(水)～9月1日(日)までの予定

日にち	曜日	給食	学校行事 等	下校
8月28日	水	×	始業式	全校 11:30
8月29日	木	○	給食開始	1・2年 14:35 4～6年 15:25
8月30日	金	○		1・2年 14:35 4～6年 15:25
8月31日	土		PTA親子愛校作業	
9月1日	日		町総合防災訓練	



※9月1日(日)は、町総合防災訓練が予定されています。先日、教育委員会からの参加依頼の通知を配付いたしましたが、児童も保護者と一緒に防災訓練へ参加するようにお願いいたします。

【地域の皆様へ】

夏休み期間【7月24日(水)～8月27日(火)】

夏休み期間中、子ども達は地域で生活することになります。これまで同様、地域での声かけ、安全の見守りなど、ご理解とご協力、ご指導をお願いいたします。

授業参観（全校福祉教室） 6/27

今年2回目の授業参観は、山梨県ボッチャ協会の小林会長様を講師にお招きし、全校福祉教室を行いました。

小林様は、歩けないご病気をお持ちで、電動車椅子を利用して生活しています。バスや電車で移動するときには、事前に予約しないと乗れないことが多いことや、食堂を選ぶときには、食べたいもので決められず、どのお店だったら電動車椅子で入れるかという基準でお店を選んでいることなど、子どもたちの生活と比べながら、その違いに気づかせていただけるように、わかりやすく話をしてくださいました。

後半は、陸上のカーリングとも言われ、重い障害を持った人もできる「ボッチャ」についてルールを教えていただき、親子で競技を楽しみました。笑顔溢れ、拍手が沸き起こる、とても和やかな授業参観となりました。後日、保護者の方々から、心温まる感想が寄せられました。ありがとうございました。



～戦争・平和について考えよう～

5・6年 甲府空襲展 7/5

全校 むかしがたりの会 7/18

16 平和と公正を
すべての人に



7月5日（金）5・6年生は、市川南小の児童と一緒に甲府空襲展へ行ってきました。また、7月18日（木）は、全校児童対象に「かみず（甲府空襲の話）」の紙芝居と「おこりじぞう」の絵本の読み聞かせを「むかしがたりの会」の方々にしていただき、戦争と平和について学びました。今年の8月15日（木）の終戦記念日は、終戦から79年になります。私の父は当時14才。甲府空襲の日の夜（7月6日深夜から7日にかけて）、長野との県境の町から、甲府の空が真っ赤に燃え上がり、遠雷のような「ゴー」と鳴る音を聞き、怖くて眠れなかったことを私に教えてくれました。甲府市だけではなく、8月13日は大月空襲の日でもあります。この山梨の地も、空襲でたくさんの大切な命が奪われたことを忘れてはならないと思います。戦争体験者が年々減ってきている今、平和であることの大切さをどのように後世へ伝えていくかが問われていると思います。この夏、お子様と戦争と平和について語り合っただけたらと思います。子ども達は子ども達なりに戦争と平和について考えています。

【5・6年児童の感想】 ～一部抜粋～

- 紙芝居を見て、楽しく過ごせるはずだった七夕の日に爆撃があって、大人も子どもも赤ちゃんもたくさんの方が亡くなってしまってとても悲しくなりました。現代、日本は戦争をしていないけれど、世界では戦争が起こっています。戦争は辛い思い出だけれどその辛さを忘れず、戦争が無い平和な世の中になってほしいと思いました。
- なにもしていない人たちが、誰かが勝手に決めた戦争に巻き込まれてかわいそうだと思います。日本だけではなく、戦争をしている国はまだあって、私は、戦争のない世の中が良いので、はやく戦争はやめてほしいと思いました。
- 僕は、甲府空襲展に行き、多くの方がなくなった事、悲しい七夕を人々はむかえた事、多くの事を知りました。同じ人間なのに「なぜ、戦争をするのだろう」と、僕は思いました。戦災のない世の中になりたいように。